



修復後の孔子廟の欄干・手摺

新理事長あいさつ



亀陽文庫理事長

原祐一

このたび、公益財団法人亀陽文庫の理事長を拝命いたしました原祐一です。長年にわたり当財団と能古博物館を支えてきた先人の歩みに深く敬意を抱きつつ、その志を継ぎ、未来へとつなぐ責任の重さを新たにしております。皆さまには、平素より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

能古博物館は、江戸中期の儒学者・亀井南冥を記念して設立された亀陽文庫によって運営されています。しかし当館の使命は、学問史を紹介するだけではありません。南冥の学問に流れる「人を活かす」精神を、能古島という独自の視点から広がる「人と海の歴史」と重ね合わせ、立体的に描き出すことを目指してきました。

能古島は万葉の昔、防人などを題材に和歌に詠まれ、博多湾の中央に位置する海の大動脈として、古来より交易と交流の舞台でした。江戸時代の五ヶ浦廻船の繁栄や博多の商人文化など、

この島をめぐる海の歴史を、当館では「海の歴史」「博多の海の交易史」「能古島に息づく万葉の世界」などのテーマで紹介しています。南冥の弟子の弟子にあたる女性医師・高場乱、その門下から生まれた玄洋社が掲げたアジアの自主独立の精神も、地域に息づく学問と交流の系譜として重要な位置を占めます。

近代の博多湾はヨット文化が花開いた海でもあります。太平洋単独往復航海、さらには世界一周へ挑んだ牛島龍介氏の壮挙は、海と冒険の昭和史として展示に結実しています。

また、別館では太平洋戦争後の「大陸からの引揚げ」を取り上げています。博多港は全国最大規模の引揚げ港となりました。さらに、ペシヤワール会・中村哲医師の活動を紹介する写真展では、「命を守る」という普遍の価値が静かに語りかけます。(原理事長は昨年、ペシヤワール会会長に就任しました)

このように、能古博物館は古代から現代、能古島からアジアへと視野を広げ、海・歴史・人をつなぐ総合的な文化施設として歩んでまいりました。小さな博物館ではありますが、皆さまに新しい発見と、時代を超える物語をお届けできれば幸いです。どうぞゆっくりとご鑑賞ください。

原寛前理事長の 逝去を悼む



新老人の会お花見(2018年)



日野原重明先生が能古小学生に「命の授業」(2009年)

能古博物館理事長であり社会医療法人原土井病院会長であった原寛先生は、令和7年10月16日に93歳の天寿を全うしてご逝去になりました。先生は病院経営のかたわら、生涯を社会貢献のために捧げられ、その一環として能古博物館理事長兼館長として長くお努めいただきました。まことに有難いことでありました。

公益財団法人亀陽文庫・能古博物館は1989年に現在の地で開館しましたが、原寛先生は第2代目の理事長として1997年に赴任されました。本館は元来、江戸時代の儒学者として黒田藩で「甘棠館」を主宰するなどの活躍をした亀井南冥とその系列の方々を顕彰する目的で設立されていましたが、1998年には島の博物館としてリニューアルし、能古島の海の歴史や自然、絵画や陶器などの展示物も順次開示されました。2008年には子供たちにも親しまれる「海の見える丘博物館」を目指してリニューアルし、さらに開館30年の2019年には「海の博物館」として再スタート。創刊記念誌「博多湾物語」の発行や、館内には古代から現代にいたる博多湾の歴史をしのぶ様々な展示、さらには故中村哲氏を顕彰するペシヤワール会展示などがなされて現在に至っています。

原前理事長は、聖路加国際病院理事長であった日野原重明先生の「新老人の会」に賛同して九州を中心に活動しておられました。2004年からは再度にわたって日野原先生を本博物館に招待し、高齢者だけでなく子供たちとの交流会も実現され多くの方に大いに喜ばれました。本館の会議室を日野原ホールと命名された由縁



亀井南冥没200年のお茶会(2013年)



手漕ぎ和船進水式(2008年)



2025年11月お別れ会



地域の方と日野原先生を囲んで(2009年)



です。ほかにも亀井南冥没後200年を記念したバスハイク、地域の祭りへの参加、毎年桜の開花の時期の花見会など、いろいろの企画を通して多くの方々と交わり、本館の意義を世に広められました。そこにはいつも、人々と楽しむ原前理事長の元気なお姿がありました。
当館では、これからも先生の遺志を引き継ぎ、さらなる発展を期してまいりたいと存じております。最後に先生のご冥福を祈りつつ、追悼の言葉と致します。

財団法人能古博物館館長
(前・原土井病院院長)
小柳左門

「古典を楽しむ読書会」の開催



我が国では古来より様々な古典が生みだされ、人々の豊かな心を育み、知性や見識を磨き、祖先以来の私たちの生き方に大きな影響を与え続けてきました。能古博物館では、江戸時代の儒学者であった亀井南冥の流れをくむ貴重な文献資料(亀陽文庫)を展示し、敷地内には儒学の祖である孔子の像を祀る孔子廟が建てられています。また博物館に隣り合わせて万葉集の歌碑(遣新羅使の和歌)があります。

そこで能古博物館では昨年春より、古典を楽しみながら学ぶ読書会を開催し、豊かな心を育て、日本の誇るべき文化を味わう集いを始めることといたしました。能古島という風雅な島で、しばらくのあいだ古典に親しむ時間は、日ごろの喧騒から逃れてはるかな時を感じ、人生を振り返る貴重な体験となることでしよう。



(1) 古典読書会第1期「万葉集」シリーズ

令和7年4月より7月までの第二土曜日に開催。千三百年以上も昔に生まれた国民的大歌集である万葉集全二十巻には、古代の人々の素朴で豊かな感性があふれています。日本人の心の故郷と言ってもいい万葉集を、ともに読み味わいましょう。解説は能古博物館館長の小柳が担当。

4月…「筑紫の歌」 大伴旅人の梅花の歌、山上憶良の「子らを思う歌」など

5月…「博多の海の歌」 遣新羅使の和歌、志賀島の海人荒雄を悼む歌など

6月…「初期万葉集の歌」 万葉集初期の代表的な名歌、大和賛歌など

7月…「防人の歌、名も無き民の歌」東国からはるばる筑紫に來た若き防人の歌、素朴な東国の民衆の歌など

参加者は延べ約80名でした。



(2) 古典読書会第2期「論語」シリーズ

令和7年9月より12月までの第二土曜日に開催。「論語」は儒学の祖、孔子の言行録として紀元前に編纂されたものですが、西暦5世紀末に輸入されて以来、我が国の学問の基礎として受け継がれてきました。とくに江戸時代、「論語」を代表とする四書五経は藩校や寺子屋教育の中心であり、能古博物館の掲げる亀井南冥の代表的著作も「論語」の解説書「論語語由」でした。そこで当館では、あらためて興味ある方々と「論語」を紐解いて読んでみようかと企画したわけです。

また寺子屋に学んで、論語素読のあとは参加者の皆さんと論語の一節を心をこめて書写して、学びを深めることと致しました。書道の指導は福岡在住の書家、坂本華泉先生です。

9月…「論語」素読の事始め。我が国における儒学の歴史解説

10月…「学而第二」篇。「学びて時に之を習う、また悦ばしからずや」など

11月…「学而第二」篇、続。「礼の用は和を貴しとなす」など

12月…「為政第二」篇。「吾十有五にして学に志す」など、孔子の生涯

参加者は延べ約60名でした。

「古典を楽しむ読書会」の来年度予定

第3期古典読書会

「万葉集…四季の歌」

4回シリーズ (20名様限定)

令和8年4月～7月の第2土曜日

「万葉集講話」 午後2時より3時30分

「万葉集書写の楽しみ」 4時30分まで

第4期古典読書会

「論語…孔子の言葉」

4回シリーズ (20名様限定)

令和8年9月～12月の第2土曜日

「論語の素読」 午後2時より3時30分

「論語書写の楽しみ」 4時30分まで

講話および解説…能古博物館館長・小柳左門ほか

会場…能古博物館会議室

会費…入館料および資料代として900円

(友の会会員は500円)

参加のお申し込みは能古博物館に

電話 (092-8833-2887)、

FAX (092-8833-2881)

またはEメール

(info@nokonoshima-museum.or.jp)

でお願い致します。

全国藩校サミット、朝倉にて開催

江戸時代に各藩に設けられた藩校の学問や精神を今に伝えようとする全国藩校サミットが、昨年11月に福岡県朝倉市において旧秋月藩のもとで開催されました。徳川宗家をはじめ全国の藩主の御子孫が、三十名以上も各藩の旗のもとに揃って並ばれた情景は壮観でした。

最初に秋月中学校の生徒数十名による秋月藩「稽古館の教え」(本誌前号に記載)が堂々と朗誦され、会場一杯の聴衆に感動を与えました。

特別講演はテレビの歴史番組でおなじみの歴史作家河合敦氏による「人づくりは国づくり」でしたが、第三代目秋月藩主である黒田長舒公が師範として招いた亀井南冥の学問を詳しく紹介されたのは驚きでした。講演終了後に河合氏にお会いし、亀井南冥と能古博物館との縁についてお話しし、大変喜ばれました。今後に期待されます。

藩校サミットに合わせて、朝倉市秋月博物館の特別展においては、能古博物館の亀井南冥、昭陽の関係資料や孔子廟に安置している青銅の孔子像が一時的に展示されました。さらに同館においては亀井南冥の紹介や講演会も催され、秋月藩に根付く亀井学の伝統を知っていただくよい機会となりました。



小柳館長(左)と河合氏(右)

孔子廟修復と記念式典

孔子廟は、儒学の祖である孔子を祀る廟堂であり、かつて江戸時代の藩校などに設立され、孔子像が安置されています。能古博物館広場の一角にある孔子廟は、設立以来ほぼ35年を経ていますが、周囲の柵や石垣、建物の一部などかなりの腐食や損傷が目立ち始めており、とくに柵については観覧される方々の危険もありました。そこで令和6年クラウドファンディングを通じて修復のご協力をお願いいたしましたところ、多くの方々からのご賛同を得て目標額に達することができ、お蔭様で昨年5月に完成いたしました。本紙面を借りて、あらためて御礼を申し上げます。

昨年の7月19日には、孔子廟修復後の披露もかねて能古博物館において記念式典を行いました。約30名の方々が来館され、孔子廟見学および参拝ののち、館長の小柳が「日本における儒学の受容と亀井学」と題して記念講演を致しました。



寄贈資料の受け入れについて

このたび、当館に新たな資料をご寄贈いただきました。貴重な資料を収蔵に加えることができましたことを、心より感謝申し上げます。

長 直子様 亀井南冥屏風 6曲1隻
 鶴巻 美紀様 亀井昭陽、亀井少榊掛幅2点
 江頭 啓介様 仙厓禅師 掛幅1点
 池田由紀子様 多々羅義雄油彩2点
 前田 雅信様 多々羅義雄油彩1点
 いただいた資料は、保存・調査を進め、今後の展示や研究に活用してまいります。



所蔵資料のデジタル化へ

令和7年度「文化庁 博物館収蔵資料デジタルアーカイブ推進事業」に採択されました。亀井資料の中でも重要な位置を占める「掛幅」のデジタル化作業を開始いたしました。今後も、貴重な資料を未来へ確実に引き継ぐため、デジタルアーカイブの整備を進めてまいります。ホームページ・文化遺産オンラインからご覧いただけます。



2025年度 能古博物館協賛ご寄付及び友の会会費ご入金の方々 (同年度末現在)

協賛ご寄付

(法人)

・浄満寺

・アネーラ税理士法人

・税理士法人エム・エイ・シー

・(医)江頭会さくら病院

・(医)恵光会原病院

・(医)笠松会 有吉病院

・(医)西福岡病院

・(医)原三信病院

・(医)福岡リハビリテーション病院

・(医)ホームケア

・(社)あおば研究所

・(株)青葉千寿倶楽部

・(株)旭工務店

・エムサービス(株九州北事業部

・(株)彩苑

・(株)アサヒホーム

・(株)サンコー

・(株)CDS

・(株)センタービジネス

・(株)筑紫不動産

・(株)内藤工務店

・(株)西日本シティ銀行

・(株)ワイエムフーズ

(個人)

・足立晴道

・上原孝正

・小野崎徹

・河村敬一

・島塚祐弘

・添島律子

・中村保夫

・原寛

・吉田長利

(敬称略・順不同)

市川 正隆

合馬 紘

亀井 章裕

朔元 則

鈴木 友和

竹川 克幸

仁保 喜之

三野 原勝子

友の会会員

注II敬称略・五十音順
・数字は会員歴(年数)

赤塚 炫	②	久米 由美子	②
秋山 雄治	①⑥	黒田 明子	①⑧
麻生 芳正	③	桑野 種義	②
荒木 英子	⑨	高口 貴子	④
池田 修三	⑩	合瀬 武久	⑬
池松 幾生	⑱	甲本 達也	⑮
諫見 俊英	⑲	古賀 崇雅	⑲
石橋 善弘	⑲	古閑 道子	⑲
市川 章子	⑳	小西 創	⑳
市丸 喜一郎	㉑	小堀 瑠伊子	㉑
井出 美子	㉒	小柳 左門	㉒
伊藤 明夫	㉓	齊藤 啓亮	㉓
石清水 由紀子	㉔	坂本 和代	㉔
宇都宮 邦子	㉕	佐久間 みな子	㉕
浦田 裕	㉖	白木 太一郎	㉖
江崎 小二郎	㉗	杉原 正毅	㉗
大石 由美子	㉘	杉山 謙	㉘
大石 恭仁子	㉙	関賢司	㉙
大智 玲子	㉚	関敏巳	㉚
大屋 美紀	㉛	瀬戸 美都子	㉛
荻原 美枝子	㉜	高嶋 桂子	㉜
金子 柳水	㉝	高山 博光	㉝
上村 陽一郎	㉞	竹中 俊裕	㉞
河野 道博	㉟	田坂 大藏	㉟
川橋 清秀	㊱	田代 健治	㊱
河邊 慶子	㊲	立石 京	㊲
木皿 敦代	㊳	田中 大士	㊳
岐部 安信	㊴	田中 由紀子	㊴
木村 寧海	㊵	田村 こずえ	㊵
國松 妙光	㊶	宍ヶ崎 建築士房	㊶
久芳 正隆	㊷	永淵 郁子	㊷
窪山 忠成	㊸	西牟田 奈々	㊸
		西山 紀子	㊹
		波多野 直之	㊺
		八田 喜弘	㊻
		服部 たか子	㊼
		花田 ひろ子	㊽
		馬場 浩太	㊾
		濱崎 彩子	㊿
		原和美	1
		原順子	2
		原靖子	3
		原祐一	4
		春野 政虎	5
		福富 節子	6
		福山 智美	7
		藤井 鉄夫	8
		藤瀬 三枝子	9
		牧健太郎	10
		牧百合子	11
		松岡 智恵子	12
		松尾 真典	13
		松尾 尚城	14
		松原 徹	15
		三浦 佑之	16
		みのたりかこ	17
		本島 洋	18
		杜あとも	19
		森恍次郎	20
		森純子	21
		森正敏	22
		安井 久喬	23
		安松 淳祐	24
		山下 謙	25
		山田 博子	26
		山本 留美	27
		山本 めぐみ	28
		和才 雅宣	29
		渡辺 彰	30
		渡辺 弘一	31
		渡辺 紳二郎	32

友の会入会のご案内

友の会会費

1口 三千円(何口でも可)

※会費の納入方法

郵便振替 01730960970

公益財団法人 亀陽文庫

(1) 振込み料は当館にて負担致します。

(2) 会費の納入確認後、会員証をお送り致します。

(3) 会員証の有効期間は1年と致します。

(4) 入館時に会員証を受け付けにご提示下さい。ご入館は随意で何回でも無料です。(ご同伴1名まで無料)

(5) 機関誌「この博物館だより」をお届け致します。随想やご意見を歓迎します。

(6) 館が企画する催物のご案内と参加費の割引を致します。

協賛寄附のご案内

法人1口三万円×口数

個人1口一万円×口数

*協賛ご寄附及び友の会会費は、税制上の「寄附控除」の対象になります。

納入方法

1、郵便振替

01730960970

公益財団法人 亀陽文庫

2、銀行振込み 西日本シティ銀行

土井支店

普通 0551459

公益財団法人 亀陽文庫

主なグループ来館等

3月29日(土)	鹿垣を守る会	100名
3月30日(日)	元氣1000倶楽部	25名
4月7日(月)	原西公民館太極拳同好会	13名
4月12日(土)	九州大学理学部	8名
5月7日(水)	能古小学校3年生	23名
5月8日(木)	能古小学校6年生	5名
5月11日(日)	福岡さばう中学校	36名
5月16日(金)	秋月博物館資料調査	4名
5月18日(日)	このこ歩こう会	5名
5月23日(金)	糸島史跡を歩く会	6名
5月25日(日)	西区まるごと博物館推進会	24名
6月27日(金)	山の会「つくしみのり」会	46名
7月19日(土)	「孔子廟欄干修復記念講演会	23名
7月29日(火)	九州歴史資料館貸出資料の搬出	3名
8月27日(水)	「人參畑」会報誌取材	1名
9月12日(金)	秋月博物館貸出資料の搬出	4名
10月9日(木)	西区よかとこ案内	23名
11月13日(木)	能古中学校1年生	18名
11月15日(土)	鹿垣を守る会	67名
11月22日(土)	産業技術総合研究所地質調査	5名
11月24日(月)	エフコープ	27名
11月29日(土)	福岡中小企業経営者協会	14名

お知らせ

「このしまアイランドパーク」=久保田観光(株)=のご協力で今年も、同パークの入園券1枚を協賛及び友の会の会員の皆様に進呈いたします。

入園券は令和8年度の「会員証」及び「領収書」に同封致します。

